

地球温暖化適応策・生物多様性保全の普及啓発

適応策・生物多様性保全の取組を巡る“たかつエコシティツアー”

1 課題

- ・地球温暖化については、疑う余地のない事実であり、今後、気温の上昇に伴い、市民生活にも様々な影響が及ぶと指摘されている。(ヒートアイランド、熱中症、風水害、自然生態系、産業等)
- ・今後最も厳しい対応を進めたとしても、数十年にわたり気候変動の影響を受けるため、これまで進めてきた温室効果ガスの排出削減などの「緩和策」に加えて、気候変動への「適応策」の検討が求められている。
- ・しかし、川崎市を含む日本では、「緩和策」が中心的に取り組まれてきたため、「適応策」に対する市民の理解や実践は不十分な状況であり、より多くの区民が、「適応策」や生物多様性保全の必要性を理解し、実践につなげられるよう、普及啓発を行う必要がある。

2 内容

区民の「適応策」や「生物多様性保全」に関する意識啓発を図るため、「エコシティたかつ」推進事業で実施しているプロジェクトのほか、区内・近隣地域で実施されている「適応策」や「生物多様性保全」に関する取組を見学するツアーを、CCたかつと協働で実施する。

※CCたかつ：高津区在住の川崎市地球温暖化防止活動推進員で構成されるグループ

3 今年度の取組内容

(1)たかつエコシティツアーの見学先を記載した「たかつエコシティマップ」の作成

＜見学先候補案＞

- ・緑ヶ丘霊園 (たかつ自然の賑わいづくり事業)
- ・区内小学校 (学校流域プロジェクト)
- ・急傾斜地崩壊危険区域・土砂災害警戒区域
- ・雨水調整池 など

(2)「たかつエコシティマップ」を活用したプレツアーの実施(エコたか推進会議委員等関係者向け)

- ・実施時期：平成28年2月
- ・対象：エコシティたかつ推進会議委員等関係者

4 スケジュール

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
見学先のリストアップ		見学先の下見・調整		ルート・マップの作成		
					プレツアー	